



【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名:	秋田県 バasketボール協会					
場所: 琴丘総合体育館 (Bコート)	記入者:	中山 元 根市 総					
チームA 仙台郡山 (宮城1位)	61	75					
	<table border="0"> <tr> <td>15-10</td> <td rowspan="4">}</td> <td>13-16</td> </tr> <tr> <td>16-19</td> <td>17-30</td> </tr> </table>	15-10	}	13-16	16-19	17-30	チームB 金井 (山形1位)
15-10	}	13-16					
16-19		17-30					

スターター	チームA: #4, #7, #8, #10, #12
	チームB: #4, #5, #7, #12, #16
ディフェンス (試合開始時)	チームA: <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB: <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン (1-2-2) <input type="checkbox"/> その他 ()

第1ピリオド、仙台郡山のマンツーマンディフェンスに対し、金井はマンツーマンと1-2-2ゾーンディフェンスのチェンジングディフェンスでスタート。両チームともに1on1からのペネトレイトを中心に攻撃を組み立てる。仙台郡山が着実に得点を重ねる一方、金井は#5 大戸のドライブやアシストからの得点のみにとどまり、思うように流れをつかむことができない。結局10-15の仙台郡山リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、金井はディフェンスをマンツーマンに絞り、仙台郡山のペネトレイトに対して厳しいカバーディフェンスを見せる。徐々に流れを引き寄せた金井は#5 大戸のジャンプシュート、#4 前田の3P、#10 佐藤の速攻で残り5分、17-17の同点に追いつく。ここまでフリースローによる3得点のみの仙台郡山は残り4分12秒でタイムアウトを請求し、ディフェンスをゾーンディフェンスに切り替える。このタイムアウトが功を奏し、#4 井上の3Pなど連続8得点で、残り2分35秒で17-26と再びリードを広げる。たまたま金井はタイムアウトをとり、#5 大戸のジャンプシュートやスティールからのゴール下シュートなどで点差を縮め、26-28の仙台郡山リードで前半を終えた。

第3ピリオド、一進一退の攻防が続く中、開始3分金井#12 吉田が3Pを決め35-32とし、金井が初めてリードを奪う。残り3分22秒、仙台郡山はタイムアウトを請求すると、#4 井上の2本の3P、#10 村上のジャンプシュートで40-42とし、リードを奪い返す。すかさず金井もタイムアウトをとり、#4 前田のゴール下、#7 會田の3Pで再度逆転に成功し45-44の金井リードで最終ピリオドに突入。

第4ピリオド、1点を争う緊迫した展開が続く中、残り6分10秒で仙台郡山がタイムアウトをとり、局面の打開を図る。しかし、流れをつかんだのは金井。アンスポーツマンライクファウルで得たフリースローを皮切りに#5 大戸、#4 前田、#10 佐藤と3連続得点で56-46と一気にリードを広げる。さらにオールコートプレスディフェンスで畳みかける。仙台郡山は#8 山根のインサイド、#7 今野のアウトサイドで応戦するが、波に乗った金井の勢いを止めることはできず、結局金井が75-61で粘る仙台郡山を振り切り、決勝トーナメント進出を決めた。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。